

作業プロセス:



スタンドブルー®ベースコートのボカシ塗装
(スポット補修/マイクロリペア)

素地:

- 補修箇所の準備は、(塗装仕様S3)を参照
中塗り塗料の塗布面積は最小限に

前処理/クリーニング:

- 補修箇所をP500-P600で研磨し、ボカシ箇所を細目の研磨パッドまたは、P1000-P3000ダブルアクションサンダーで足付け研磨処理



スタンボックス塗装仕様S1素地準備情報を参照

準備:

- 大部分の色は、希釈調合済みのStandoblue®ベースコートでスポット補修のボカシ塗装が可能です
- スポット補修のボカシ塗装が難しい色(ハイメタリックカラー等)については、以下の混合を推奨します。
調合済みStandoblue®ベースコート: Standoblue®カラーブレンド+MIX199=1:1+10% (100g:100g:20g)
*Standoblue®ビスコシティアジャスターの希釈無し

塗装:

- Standoblue®ベースコート:
調合したStandoblue®ベースコートを手元圧0.8-1.5バールに調製し、3-5回ミディアムウェットコートを行う
- 直接補修箇所上に塗布し、フェードアウトエリアに伸ばして行く
各コート間の前にフラッシュオフを取る
- クリヤーコート:
Standocryl®VOCクリヤー類を補修パネル全体に塗装

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与えますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」